

公売

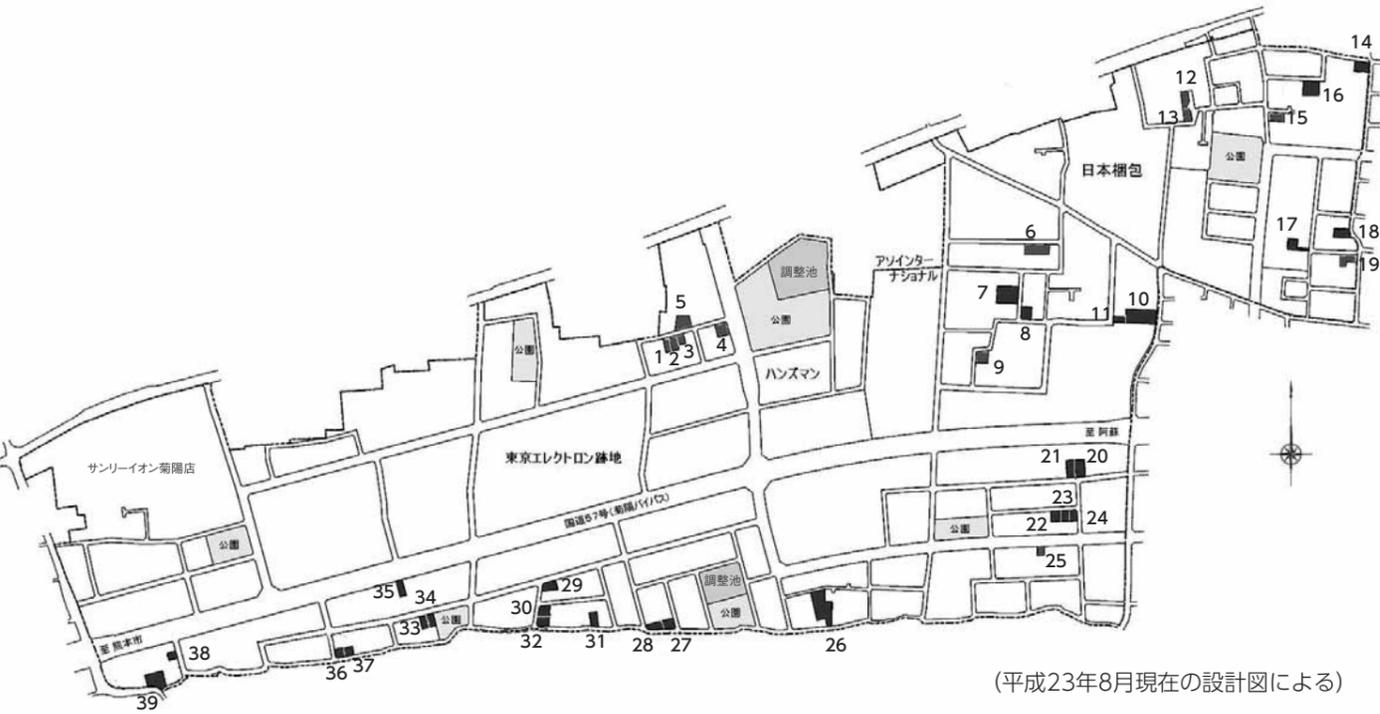
用途地域・工業地域の全39区画
菊陽町の保留地を公売します

都市計画課 区画整理計画係 ☎(232)4927

熊本都市計画事業菊陽第二土地区画整理事業区域内の保留地を売却します。

- 公売方法 一般競争入札方式 (購入希望者が重複した場合に実施します)
- 買受資格 次の要件に該当しない人(法人、個人は問いません)
 - ①成年被後見人、被保佐人、破産者で復権を得ない人
 - ②未成年
- 申込期限 9月22日(木) 午前8時30分～午後5時15分 ※ただし、土・日・祝日を除く。
- 申込場所 都市計画課(別館2階)
- その他 期間中に申し込みがなかった物件は、9月28日(水)から先着順により随時販売予定です。

| 番号 | 面積(m ²) | 最低売却価格 | 番号 | 面積(m ²) | 最低売却価格 | 番号 | 面積(m ²) | 最低売却価格 |
|----|---------------------|--------------|----|---------------------|--------------|---|---------------------|--------------|
| 1 | 249 | 986万400円 | 16 | 505 | 1,934万1,500円 | 31 | 220 | 774万4,000円 |
| 2 | 249 | 966万1,200円 | 17 | 271 | 1,024万3,800円 | 32 | 248 | 947万3,600円 |
| 3 | 199 | 788万400円 | 18 | 294 | 1,090万7,400円 | 33 | 198 | 968万2,200円 |
| 4 | 245 | 1,127万円 | 19 | 251 | 1,019万600円 | 34 | 197 | 963万3,300円 |
| 5 | 319 | 1,276万円 | 20 | 346 | 1,629万6,600円 | 35 | 219 | 1,381万8,900円 |
| 6 | 293 | 1,160万2,800円 | 21 | 346 | 1,629万6,600円 | 36 | 173 | 692万円 |
| 7 | 801 | 3,075万8,400円 | 22 | 207 | 859万500円 | 37 | 174 | 692万5,200円 |
| 8 | 285 | 1,276万8,000円 | 23 | 207 | 859万500円 | 38 | 138 | 478万8,600円 |
| 9 | 293 | 1,239万3,900円 | 24 | 207 | 885万9,600円 | 39 | 582 | 2,095万2,000円 |
| 10 | 903 | 3,702万3,000円 | 25 | 182 | 904万5,400円 | 全39区画 用途地域・工業地域 建ぺい率 60% 容積率 200% | | |
| 11 | 157 | 681万3,800円 | 26 | 1,045 | 3,709万7,500円 | | | |
| 12 | 243 | 860万2,200円 | 27 | 252 | 950万400円 | | | |
| 13 | 248 | 915万1,200円 | 28 | 239 | 889万800円 | | | |
| 14 | 309 | 1,257万6,300円 | 29 | 264 | 1,177万4,400円 | | | |
| 15 | 318 | 1,144万8,000円 | 30 | 248 | 984万5,600円 | | | |



(平成23年8月現在の設計図による)

ごみ量

ごみ出しを工夫して
ごみの排出を減らしましょう

環境生活課 ごみ減量推進係 ☎(232)2114

燃やすごみ袋に「特小サイズ」ができました

燃やすごみとしていたほとんどのプラスチック類が、4月から「資源物」の対象となったこと、高齢者や1人世帯が増加していることなどから、燃やすごみ袋「特小」(1枚15円)を作製しました。

販売店では、9月1日から購入することができま。購入の際には、町名を確認し、他の市町と間違わないように十分ご注意ください。



「プラスチック類(資源物)」の適正な分別をお願いします

違反ごみ(資源物)年間2,000袋

プラスチックとして分別できないもの

- ・汚れたもの (弁当箱・チューブ容器の油汚れ・植木鉢・プランターの泥汚れ)
- ・金属などの付属品が付いたプラスチック (おもちゃ(金属類・電池付き)、クーラーボックス)
- ・「塩素系」と表示された容器 (カビ取りや漂白する液体の入った容器)

買い物には、マイバッグを！
レジ袋無料配布中止の取り組みがスタートします。

レジ袋削減の目的

温暖化による影響として、気温や海面の上昇、異常気象による災害などが報告されています。温室効果ガスの一つである二酸化炭素の総排出量のうち約2割は、私たちの暮らしの中から排出されていますので、環境にやさしい取り組みを実践することが重要となっています。

レジ袋は石油を原料としているため、製造と焼却の過程で二酸化炭素を排出します。また、容器包装としての機能を終えた後は廃棄物として処理されます。

レジ袋の使用を減らすことは、温暖化防止やごみの減量化の取り組みにつながっています。

レジ袋無料配布中止に向けた動き

熊本都市圏協議会では、構成市町村・事業者・市民団体などから構成する「熊本都市圏レジ袋削減推進協議会」を設置し、平成23年10月からレジ袋の無料配布中止に向けて取り組んでいます。町は、マイバッグ持参率を高めるための取り組みに参加していきます。

すでに各家庭にマイバッグを配布し活用をお願いしますが、今後

「マイバッグキャンペーン」を行います

- ▶日時 10月1日(土) 午前11時～正午
- ▶場所(予定) イオン菊陽店、さんふれあ、鮮ど市場菊陽店、マックスバリュ光の森店、ゆめタウン光の森店



も皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※熊本都市圏協議会構成市町村

- 熊本市 宇土市 宇城市 合志市
- 美里町 玉東町 大津町 菊陽町
- 西原村 御船町 嘉島町 益城町
- 甲佐町 山都町